

3・11福島現地闘争へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年2月10日
No.359

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

法大入試決戦で受験生との結合を!

◆斎藤いくま全学連委員長の駅前アピール

昨年の9月19日、安保関連法案いわゆる戦争法案が強行採決されてから大体5ヶ月ほどが経ちました。今年の3月の29日には、いよいよ戦争法案が施行されて同時に、日米韓の軍事同盟によって、具体的には作戦計画5015という形で、朝鮮半島に対するイラク戦争型の侵略戦争が狙われています。

そして重要なのは、僕ら自身の生活、日常。これが今、戦争の道具になろうとしていることです。その現状に対して自分達の日常から現場から闘いに立ち上がろうということを強く訴えたいと思います。

私達全学連は昨年の10月27日、大学の軍事研究や経済的徴兵制、これに反対して京都大学で、30年ぶりに戦争反対のストライキを敢行しました。今防衛省によって、「安全保障技術推進研究制度」というものが作られて、大学に対して「3000万円のお金をやるから防衛省と共同で軍事研究をやれ。」という制度が作られています。

またこの30年の間に学費は上がり続け、私立大学で約3倍、国立大学で学費が20倍~30倍にまで跳ね上がっている。この現状の中で学生の52.5%が奨学金を借りないで大学に行けない。こういう状況を背景にして、「奨学金を返せない学生は防衛省にインターンシップにいけばいいんじゃないか。」もしくは「お金がない学生は防衛



2月5日から法大入試が始まり、全学連と文連が飯田橋駅前でも連日情宣

医大に入れればいいじゃないか。」こういう風な形で、経済的に学生や家族を労働者を貧困にたたき込むことで自衛隊に自ら入隊せざるをえないようにする、こういう経済的徴兵制が行われつつあります。

貧困と戦争は一体のものとして進みつつあります。私達はその両方に対して自分達の現場から、一歩前に踏み出そう。本日法政大学を受験する学生のみなさん。法政大学は営業権を掲げて「本日は受験生が35000円の受験料を払って大学に来るわけだから、それに対する妨害をしてはならない。」こういう論理で宣伝活動を禁止する仮処分を裁判所に申請しました。私達がおかしいと思うことがあって、それに対しておかしいという権利を金儲けの邪魔になるから、排除していいんだ。こういう論理で多くの理不尽が正当化されてきたんじゃないですか?

変える力はここにある! 私たちが歴史を動かす!

3.11反原発福島行動'16

〈日時〉 3月11日(金) 13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



この間私達学生にとっても大問題になっている、あの軽井沢でのスキーツアーのバス事故。労働者の権利が認められ、65才の労働者が生きるためにほとんど運転したことのない大型バスを運転させられて、事故を起こして学生もろとも死んでしまった。学生も学費の高騰に伴って、お金がないから格安のツアーバスを取らざるを得なかった。貧困と貧困が連鎖して、労働者の貧困、非正規職という問題と学生の貧困という問題が連鎖して、バスの事故が生み出されて多くの人たちが殺された。それがバス事故の最大の核心だと私達は思っています。この貧困と戦争が一体で進んでいるこの現実に対して、どんなに規制を強めても労働者が現場で人間らしく働くことができない。この環境がバスの事故を生み出してしまうような、そういう原因にもなっていた。みなさん、私達が人間らしく働くことが出来るということが、バスが安全に運行される条件であったし、鉄道の労働者が人間らしく働けるということが安全に運営される条件だったりします。それは皆さんが働いている中で日々感じている問題ではないでしょうか？

みなさん、この社会を働いて動かしているのは労働者です。この社会を担っていくのは私達学生です。次に労働者になるのは私達学生です。だから私達は今の労働者を巡る労働の問題、そして貧困につけこんで進もうとしている軍事動員の問題、戦争動員の問題。これらは一つの問題として、僕らが現場から立ち向かうべき課題として、一緒に闘うべき問題だという風に思います。

重要なことはストライキの出来るような、労働組合や学生自治会を甦らせることが必要だという風に考えています。みなさん、安倍首相がなにをいおうが、現場で働くのは労働者です。実際に授業を受け、次の社会を担っていくのは私達学生です。戦争は具体的には自衛隊がやるものでもないし、安倍政権がやるものでももちろんありません。車を作っていた労働者が明日から戦車を作り、昨日まで人を運んでいたJRが明日から軍事物資を輸送する。そういうことによってしか戦争は出来ません。戦争の問題は私達の労働の問題です。そういう労働でも私達がおかしいと思っても、おかしいと言えない状況が、私



入試決戦と一体で御茶ノ水駅前で行った街頭宣伝を行い「許すな改憲」署名が続々集まっています！

達の日常に当たり前のよう存在する。これが戦争遂行の具体的条件です。

私達の大学から、私達の職場から、戦争動員は具体的に業務命令として、授業として、研究として行われようとしている。そうであるならば、その主体である僕ら自身が、ストライキで誰がこの社会を動かしているのか。はっきりさせる行動で反撃していくことが一番有効ではないか。私はそう思っています。

今年は改憲ということで、参議院選挙も行われるということがあります。でも私は今回の選挙で、どこの党派がどれくらい伸びるか。そういうことが根本的には問題ではないという風に思っています。どの政党がどれほど票を取ろうが、私達の現場が私達の日常が変わらなければ、選挙の時だけ政治に興味をもっていろいろやっても、結局選挙のあと、数年間政治は勝手に行われるわけです。だからどんなに政党が変わっても、結局政治をやっている人間は変わっていない。こういう状況をひっくり返すために、自分達の現場から、政治を取り戻していくこと。闘う労働組合や闘う学生自治会を、理不尽に対してノーと言える団結を、もう一度甦らせていくことが、今最も重要な行動なんじゃないか。私達はそう思っています。

戦争を止め、貧困・非正規職へ！ 2・14国鉄集会と3・11反原発福島行動への結集をみなさんに呼びかけます。

【当面する行動方針】

● “戦争と労働法改悪に立ち向かおう！” 2・14国鉄集会

2月14日(日) 18時～ すみだ産業会館8階・サンライズホールにて

主催：国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

● 武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判控訴審・判決

3月16日(水) 15時半～ 東京高裁822号法廷にて

